

ふれあい  
マージャン

## 2/3 ボールを投げて鬼退治



学童保育で節分の豆まきが行われました。この日は日曜参観の振り替え休日だったため、空いていた小学校内のプレイルームで鬼ごっこをしていた児童たち。そこに鬼が登場し子どもたちに襲い掛かります。突然のことに驚く児童たちでしたが元気にボールをぶつけ交戦しました。勢いよく飛んでくるボールに鬼はすぐ降参し、最後は握手を交わして去っていきました。

2/7

## 国営事業への貢献に 感謝状を贈呈



妹背牛町役場町長室で感謝状贈呈式が行われ、国営農地再編整備事業妹背牛地区の際に工事施工で現場代理人を務めていただいた中本土建株式会社から相馬賢さん、同事業の換地業務計画作成業務を担っていただいた株式会社極東コンサルタントから浦田千恵子さんが来庁されました。事業の推進に大きく貢献された2社に感謝状を贈呈するとともに町長から感謝の言葉が贈られました。

## 2/3 ファイターズの勝利を願って

北海道日本ハムファイターズ妹背牛後援会の総会が、わかち愛もせうしひろばで開催されました。この総会には、ゲストとして同球団から石川拓道さんが出席し、ファイターズの各選手の活躍ぶりや今シーズンにける意気込みなどを講演しました。去年は今ひとつ成績が振るいませんでしたが、この日集まった90名ほどの会員は「郷土北海道が誇る球団の勝利を願い全町を挙げて応援しよう!」と熱いエールを送りました。



## 2/9 初めての獅子舞に拍手喝采



株式会社 CB ツアーズの主催によるバスツアーが開催され、札幌市内などから22名の参加者が来町しました。このバスツアーはガイドとして町長が同行し妹背牛町の魅力を説明するというもの。ペペルでお昼ご飯を食べる際には獅子舞保存会による舞が披露されました。参加者の中には初めて見るという方も多く、スマートフォンで記念撮影をされている方もいました。その後はカーリングを楽しみ、ペペル温泉で汗を流して妹背牛流のおもてなしを満喫されました。

## 2/7 運動不足の体に喝

運動不足になりがちな農閑期に体を動かし、若いうちから生活習慣病の予防をしようと、農協青年部を対象に運動教室が開かれました。まずは健康診断から始まり、自分の体の状況を知った後、運動を開始。札幌市のダックススポーツクラブから健康運動士の高津宏樹さんを講師で招き、腹筋、腕立てなどのサーキットトレーニングを行いました。中には「想像してたよりきつい!」と声を上げる方も。普段使わない筋肉もたくさん動かし、汗を流しました。



## 2/16 3か国の高校生がホームステイ

台湾の高校生が修学旅行の一環として北海道を訪れ、本町の3世帯にホームステイしました。これは元気村・夢の農村塾が「北海道の農業を中心とした生活を体験してもらおう」と地域の一般世帯の協力で受け入れているもの。今回は、同高校に留学中のスウェーデン・ノルウェーの生徒も含まれており、北欧とはまた違った雪の北海道を楽しみました。宿泊した夜は、たまたまスノフェスのフィナーレで花火が打ち上げられ、生徒たちは冬の夜空に開く花火の美しさに歓声を上げていました。



## 2/8 寒さを吹き飛ばすホットなおまつり

立春を過ぎたとは言えまだまだ寒さの厳しい妹背牛。わかち愛もせうしひろばでは「2020もせうし冬まつり」が開催されました。この催しは、「ちびっ子からおじいちゃんおばあちゃんまでみんな集まり楽しいひとときを」と、NPO法人わかち愛もせうしの主催で毎年この時期に開催しているものです。

オープニングは、「長谷さん汁」のバンドが懐かしいヒット曲を演奏し賑やかにスタート。会場内には射的や輪投げなどのあったか縁日や手作り体験教室などのコーナーが設けられ、150人程の町民が集い真冬のお祭りを楽しみました。

